



令和3年 12月定例会

第141号

議会だより



令和4年 佐々町成人式（1月5日）町文化会館

◆ 目次 ◆

- 令和3年12月定例会(予算・条例等) 2～3
- 常任委員会報告 4～5
- 12月定例会 賛否表 6
- 一般質問 7人が町政を問う 7～14
- 要望活動・西九州自動車道建設促進大会・議会日誌 … 15
- インターンシップ生の感想・編集後記 16

佐々町議会HP
QRコード



佐々町まち・ひと・しごと 創生推進基金条例制定ほか 6件の条例改正等

可決

12月定例会で 審議したこと

12月定例会が12月14日から12月16日までの3日間の会期で開催されました。専決処分の承認を求める議案1件、条例の制定・廃止・一部改正等7件、令和3年度一般会計補正予算と特別会計補正予算の7件、和解及び損害賠償の額を定める件の1件が上程され、すべての議案を原案のとおり可決しました。また、固定資産評価審査委員会委員の人事案件に同意しました。

可決された議案の主な内容

○佐々町まち・ひと・しごと創生推進基金条例制定

佐々町まち・ひと・しごと創生推進事業のために法人が寄附した寄附金（企業版ふるさと納税制度）を活用することを目的に設置される基金。①

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、まちの未来を担う人材を育成する事業②誰もがいきいきと安心して暮らすことのできるまちをつくる事業③町民の生活を支える産業を持続・発展させる事業④まちの魅力を発信し新しいひとの流れとつながりをつくる事業の4つの各号が総合戦略

の基本目標となり、総合戦略事業の財源として企業からの寄附金を積み立てるため、この基金条例を創設するものです。

○佐々町学童保育条例廃止

○佐々町学童保育施設設置条例制定

いわゆる直営に近い形で運営していた形だったものから、国が定める基準の条例をもって学童保育事業者が、主体的に運営できるような条例に切り替えるため廃止し、新たな条例を設置するためのものです。

○佐々町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員認定資格研修の受講機会の拡充として指定都市及び中核市の長が実施する研修を修了した者を放課後児童支援員として取り扱うため、国基準が一部改正されたこと、また国基準の参酌化に伴い、有資格者の放課後児童支援員認定資格研修未受講期間に係るみなし規定の延長を行うためです。

○佐々町国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の一部を改正する政令が令和3年8月4日に公布されたことに伴い、出産育児一時金40万4千円を40万8千円に引き上げ、産科医療補償掛金相当加算額は1万6千円から1万2千円に引き下げられるものです。

○佐々町農業集落排水施設設置条例及び佐々町農業集落排水事業受益者加入金に関する条例廃止

農業集落排水地区の公共下水道への接続が完了し、農業集落排水事業は公共下水道事業へ移管・統合され、令和3年度をもって農業集落排水事業が廃止となるため、条例を廃止するものです。

○和解及び損害賠償の額を定める件

集落排水事業特別会計の文言を削除するものです。

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

同意を求める件
新任 池田新治さん
(任期)
令和3年12月22日から3年間

2万8436円



補正予算

可決

令和3年度

一般会計補正予算(第12・13号)

歳入歳出それぞれ 2億6719万円増額し
予算総額 72億2765万円となる

一般会計補正の主なもの

(歳入)

・個人・法人町民税 現年度課税分	60,000千円
・固定資産税 現年度課税分	6,000千円
・軽自動車税 現年度課税分	3,378千円
・国庫負担金	29,910千円
・国庫補助金	150,079千円
・県支出金	8,874千円
・基金繰入金	△7,269千円
・雑収入	△13,966千円
・町債	16,800千円

(歳出)

・議会費	△63千円
・選挙費	△1,612千円
・児童福祉費	158,095千円
・保健衛生費	31,471千円
・農業費	△1,590千円
・商工費	△2,223千円
・土木費	△12,066千円
・消防費	6,220千円
・災害復旧費	32,293千円

令和3年度各会計の補正予算

区 分	今回の補正金額	補正後の金額	
一般会計補正予算(第12号)	1億2,548万円	70億8,595万円	
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	3,537万円	14億4,223万円	
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	△139万円	1億7,226万円	
国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	48万円	1,292万円	
水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収支	5万円	3億7,486万円
	資本的収支	572万円	4億6,724万円
公共下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収支	5,836万円	9億4,238万円
	資本的収支	△157万円	4億8,630万円
一般会計補正予算(第13号)	1億4,171万円	72億2,765万円	

常任委員会報告

総務厚生委員会

所管事務調査

10月22日(金)

1. クリーンセンターの 長寿命化対策について

延命化計画として工事後の稼働期間は15年、長期的計画としては近隣各市町と検討協議していくとのこと。大きな事業費に関し、慎重な協議が必要であり、継続調査とした。

2. 町立診療所における 小児発達専門外来設置について

令和4年度から診療所において小児発達専門外来を実施すること。本町では、医師不足のため半年待ちであり、早期

令和4年度から6年度までの3年間、運営委託候補事業者の公募型プロポーザルを実施した。

口石学童保育において

は応募事業者1者、佐々学童保育においては応募

事業者なく、来年度運営について、現在検討中の報告を受けた。

11月18日(木)

1. 移動支援について

佐々町高齢者外出支援タクシー助成事業を令和4年4月から改善したいとのこと。改善内容としては75歳以上という現状

を75歳以上で自家用車を運転しない方・免許なしの方・車なしの方という変更点。助成内容として現在、タクシー初乗り料金を2ヶ月あたり8枚、年間48枚の助成しているところをタクシー料金半額を助成する。1回あたりの上限、限度額は千円、1ヶ月あたり8回年間96

回、現行の2倍にする。

対象者限定について疑義の意見が多数あり、継続調査案件とした。

2. 条例等について

①佐々町学童保育条例を廃止する条例について

②学童保育館設置条例(仮)の制定について

③佐々町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

④佐々町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定について

⑤佐々町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について

⑥佐々町国民健康保険条例の一部改正について

3. 決算書について

4. 新型コロナウイルスワクチン接種事業(3回目)について

5. し尿等前処理施設整備事業について

基本設計の段階において、想定事業費が大幅に増加する見込みとなったため、実施設計を取りやめ、町直営での性能発注方式へ切り替えたいとの説明を受けた。

委員会として内容は確認したが、継続調査案件としながらも調査について全員協議会での取り扱

いとなった。

11月25日(木)

1. 条例等について

①佐々町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

②佐々町消防団設置条例の全部改正について

③農業集落排水条例等の改正について

2. タブレット端末の導入について

その他報告

①企業版ふるさと納税について

②広報さざのりリニューアルについて

③松浦鉄道株式会社に対する持続化支援について

④学童保育について

⑤各種証明書のコンビニ交付の状況について

⑥令和3年12月議会人事案件について

⑦人事院勧告について

⑧廃止条例について

⑨国民健康保険税について

⑩子育て世帯への臨時特別給付金について

以上10件の報告がありました。

産業建設文教委員会

11月17日(水)

所管事務調査

1. 幼児・学校・社会教育及び整備について

① GIGAスクール児童生徒用タブレット端末の運用について

佐々小学校において説明を受け、実際の授業を視察した。

2. 農林業について

① 農地法第4・5条転用の未了について

過去10年間で14件の未了があり完了まで確認を続けていく旨の報告を受け、調査を行った。

3. 上下水道事業について

① し尿等前処理施設整備事業について

当初計画では、日本下水道事業団との業務支援

を行った。

協定に基づき、基本設計・詳細設計を行い、建設工事に入る予定であったが、当初見積額が大幅に増加する見通しとなったため、基本設計完了段階で協定を打ち切り、町直営で性能発注(設施工一括)に切り替え、詳細設計・建設工事を一括入札とし、建設を進める旨の説明を受けた。

さらなる検討が必要であると、全員協議会による調査を求め、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

② 公共下水道条例の改正について

一般会計からの基準外繰り入れの縮小・解消等を理由として、下水道使用料の引き上げ改定を行う旨の説明を受け、調査

「この時期に引き上げるべきではない」などの意見が出され、継続調査とした。

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

2. 公用車による交通事故

故の和解及び損害賠償について

子どもの飛び出しによる軽微な事故が発生し、示談成立の報告を受けた。

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

締結し、その後、平成18年に変更契約が行われ、

分収の割合が林業公社80%、町10%、地元10%となっていた。今回平成20

年からの収入金について、地元5地区への配分を行うことが妥当と判断し、

次年度予算への計上を準備している旨の報告を受けた。継続調査とした。

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

4. 事業の繰越について

標準工期確保が困難となり、事業繰越となる旨の報告を受けた。

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

現在改修中の佐々駅舎内に新たに指定管理者制度を導入した、観光交流センターを設置する旨の説明を受け、継続調査とした。

④ 水田農業確立推進事業基金条例を廃止する条例について

⑤ 佐々町技能訓練センター条例を廃止する条例について

③ 仮称佐々町観光センター設置条例(案)について

令和3年12月議会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	平田康範	川副剛	横田博茂	永田勝美	長谷川忠	阿部豊	永安文男	橋本義雄	須藤敏規	淡田邦夫	評決数	結果
71	専決処分した事件の承認を求める件 (令和3年度 佐々町一般会計補正予算 (第11号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認
72	佐々町まち・ひと・しごと創生推進基金条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
73	佐々町学童保育条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
74	佐々町学童保育施設設置条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
75	佐々町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
76	佐々町国民健康保険条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
77	佐々町農業集落排水施設設置条例及び佐々町農業集落排水事業受益者加入金に関する条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	淡田議長は裁決に加わりません	9対0	原案決
78	佐々町特別会計条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
79	和解及び損害賠償の額を定める件 (公用車交通事故における和解及び損害賠償)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
80	令和3年度 佐々町一般会計補正予算 (第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
81	令和3年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
82	令和3年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
83	令和3年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
84	令和3年度 佐々町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
85	令和3年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案決
86	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
87	令和3年度 佐々町一般会計補正予算 (第13号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	原案決	
発議8	議員の派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	原案決	

平田康範 議員(一問一答) …………… 8

- ① 農地の保全と農業振興について
- ② 消防団の活性化に向けた処遇改善について

阿部 豊 議員(一問一答) …………… 9

- ① 近年の様々な計画策定及び事業実施について

長谷川 忠 議員(一問一答) …………… 10

- ① 町道・公園の維持補修について
- ② 7月定例会のおり、一般質問においての外出支援策の検討について
- ③ 新型コロナウイルス感染が社会生活にもたらした影響について

永田勝美 議員(一問一答) …………… 11

- ① 町内循環バス(仮称)の実現に向けて
- ② 新型コロナ対策について
- ③ くらし・福祉の充実に向けて

永安文男 議員(一問一答) …………… 12

- ① 佐々町の持続可能なまちづくりを進めるSDGs(エスディーゼズ)の取り組みについて
- ② 教育行政について
- ③ 交通安全対策について

川副 剛 議員(一問一答) …………… 13

- ① 住みやすいまちづくりについて
- ② 行政サービスへのAI・RPA導入について

橋本義雄 議員(一問一答) …………… 14

- ① 消防団運営について
- ② 水道課の深井戸の管理について
- ③ 町道路線の認定について



令和4年 消防出初式放水(1月6日)佐々川河川敷

◎一般質問の記事について

質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法

【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

農地の保全と農業振興策の方針は

安定的で持続性のある農業構造を検討

中山間地域の農地は耕作放棄地が拡大していることから、農地保全に向けた対策と今後の農業振興策について考えを質した。



平田 康範

■ 質問

米価の下落をはじめ農産物の価額が低迷する一方、生産資材は高騰している。

農家は二重、三重の失望感で将来に不安を抱かれています。今日の農家の実態をどのように捉え、今後の農業振興はどのように取り進めようと考えているのか。

■ 町長

人手確保と省力化による農業の負担軽減が課題であり、認定農業者の確保や集落営農の推進、またスマート農業技術の普及も熟慮しながら、今後は農業の振興に取り組みたいと考えています。

■ 質問

山間部においては、ほ場への進入農道が整備されていない箇所が多くあるが、地域共助での農道改良工事については限界がある。

公助の立場から支援が必要ではないのか。

■ 町長

本町は中山間地域のほ場が多く、安全作業確保の環境整備は課題の一つと認識しています。

多面的な機能構造というところで、十分に協議しながら推

進していきたいと考えています。

■ 質問

就農者の減少、高齢化など本町の農業が直面する課題を解決するためには、スマート農業技術を速やかに普及、拡大させることが新たな農業振興策と思うが。

■ 町長

本町の農業が直面する課題解決には、スマート農業の技術を農業に導入して普及、拡大させることは、必要不可欠と考えています。

■ 質問

ドローンによる農薬散布については、本格的に取り組みをされているが、スマート農業推進協議会と連携を密にし、効果を検証し、支援策等を検討すべきではないのか。

■ 町長

農薬散布の効果については、農家の皆さんの聞き取りなどを含めて、検証作業を行わなければと考えています。



歩行型草刈り機の実演講習

消防団の活性化と団員確保は

活性化・団員確保に努めていく

佐々町消防団条例の改正が予定されていることから、消防団の活性化に向けた処遇改善及び団員確保について方針を質した。

■ 質問

団員確保については、成人式でのPR活動、消防団体験フェアなど、また、活動支援については、消防団協力事業所表示制度などに取り組みされている自治体もある。

本町も先進地の取り組みなど調査研究する必要があるのではないかと。

■ 町長

消防団本部と協議しながら先進的な取り組みを研究します。

■ 質問

地域に密着した消防団の活動については、費用も必要である。

また、火災や自然災害など有事の際、更には月例消防機器の点検整備、火災予防運動期間などにおける費用も必要である。

分団運営の充実により、消防団の活性化、更には団員確保の観点からも分団運営費補助金などの見直しを急務と判断するが。

■ 町長

活動環境の改善のためには、柔軟な対応が必要であり、補助金の使途状況を確認しながら、消防団と十分に協議し、取り進めたいと考えています。



阿部 豊

近年、計画策定費用が増、計画事業が実施・実行できていないものがある原因は如何に

地域の実情を考慮せずに、全国一律的な計画策定を義務付けられている例があり、町村の裁量に任せるよう申し出を行っている。

■ 企画財政課長
令和2年3月に策定した町有地活用基本方針に基づき内部委員会で整理・分類を行っています。具体的決定までは至っていないが、民間によ

■ 質問
「まちなか町有地活用事業」、「農業体験施設・皿山農産物直売所活性化事業」まちなか町有地は、幼稚園、旧第一保育所、診療所を解体されたが、跡地利用は如何に。農業関係は手付かずでありながら第1期計画から引き続き掲載してあるが如何に。

近年、計画策定費用に要した予算は1億円を超える状況である。計画書は作ったが、事業が計画通りに進捗していないものが散見されるため、計画通りに進めることが難しい或いは全く進んでいないということの障害は何なのか確認したいと質問をいたしました。

る利活用を行うために売却処分が望ましい土地と整理。中心部の賑わいに起因する場所となるよう検討しなければと考えています。
■ 産業経済課長
しかしながら庁舎建設期間中は、役場周辺の駐車場不足のため確保しておかねばと考えています。
農業体験施設、皿山農産物直売所活性化事業については、施設の企画、運営方法策定については、検討段階で現時点進捗はありません。
■ 町長
農業体験施設は利用者数が少なく、他の方法を検討しなければならぬ。農業体験だけでは厳しい。
皿山直売所は、早期に方向性を打ち出すよう原課、運営者と協議をしたいと考えます。

■ 意見
年内に会議を開催し、結論を早期に導きたい考えに期待する。
公立一園堅持の考えのもと質問をしたが、計画書にはなかった新年度の「小児発達専門外来開設」や医療的ケア児対応も公立が担われている。地域福祉計画の充実もマン

■ 質問
公立保育所の役割について、全国的に公立保育所が減少する中、改めて公立保育所の存在意義が問われている。民営化についてメリット・デメリットを引き続き検証するとあるが如何に。
■ 町長
公立保育所の在り方、3歳児未満における保育所の負担軽減の検討と併せ、就学前の教育・保育の在り方という点において、「子ども子育て会議」の意見をお聞きし整理したいと考えている。年内に1回の会議を予定しています。
整理ができ次第、議会の方へ報告します。



パワー、保健師の活躍が裏付けにはあると感じます。
政策の早い決定が住民サービスの向上に繋がる。持続可能な行政サービスにつなげてほしい。
※その他、都市計画マスタープラン、道路網計画、地域防災計画、地域福祉計画等についても質問しております。

町道・公園維持補修の要望対応が遅い要因は

住民要望の数に対して作業員の人手が足りない



長谷川 忠

町民の皆さんが知りたい 目線を趣旨としての質問をした

■質問

道路維持補修員の業務は、町道・公園の維持補修管理となつていますが、町民(町内会長)が町へ要望提出をしても対応が遅い要因は。

■町長

道路維持補修員、現在は7名で作業を行っている。定期的な道路・公園の維持管理業務に加えて、住民要望の草刈り・災害対応などの突発的な作業にもいち早く対応しています。

本町のように、自前で維持管理専門とする作業員を雇用している自治体は極めて少ないです。

■建設課参事

11月の広報で会計年度任用職員の募集をかけたのですが応募はありませんでした。

■質問

今後、地域住民の環境要望に対しての考えは。

■町長

シルバー人材センターにも委託をし、効率よく作業ができるようにうまくバランスを取りながら、なるべく早く住民の方からの要望に対応できるように努めて行きます。



町作業班車輛

新しい移動支援の対策は

官民連携にて移動支援を充実したい

■質問

7月の定例会のおり、一般質問で外出支援策を町長は、タクシー券以外の移動支援策を11月頃までには、方向性を考えていくと答弁なさいましたが、その後は。

■町長

総合福祉センターを拠点とし、社会福祉法人によるボランティアの送迎を開始。

また、ぷらっとのメンバーのボランティアによる生活支

援の拡充を始め、高齢者宅の掃除や買物支援に加えて、一緒に買物に行く形での移動支援をスタートしたところであります。さらに、各集会所のいきいき百歳体操時に、民間の移動販売車をスタート。また、スポンサーによる買物の送迎支援も検討されているところでございます。このように、住民主体による取り組みに併せまして、官民連携による移動支援が充実しつつあると伺います。

また、既存のタクシーの助成の仕組みについての見直しに向けて作業を進めています。

新型コロナウイルス感染環境の影響にて児童生徒への心身的な問題は発生していないか

生活リズムの乱れ等の影響はあったと認識している

■質問

新型コロナウイルスの影響にて、全国では1913校で

肥満の増加が46・5%、視力低下の増加が36・4%、との統計がでている。ゲームやスマートフォンに費やす時間が増えて生活リズムの乱れにて、精神的にも不安定な生徒の増加が指摘されているが、本町では。

■教育長

学力差が広がったとか、精神的に不安定な子どもが増えたとの指摘は教職員から上がっています。

■質問

本町には、小中学校の不登校は存在しないのですか。

■教育長

不登校は確かに存在しております。学校における大きな課題と受け止めています。

■質問

児童生徒を守るべく教育委員会・学校・保護者間のコミュニケーションは。

■教育長

報告・連絡・相談体制を充実させるように指導。3校の校長会では教育委員会と密な情報交換を行っているように思っております。



永田勝美

高齢者タクシー助成改善をさらに

当面は、半額補助・上限1000円まで

町長は、前回11月に案を示すとしていた、町内交通改善策として、巡回バスは見送り、高齢者外出支援タクシー券補助の改善案を示しました。私は、改善案については「一歩前進」と評価した上で、さらなる改善とともに、循環バスとの組み合わせが必要として、質問・提案を行いました。

質問

今回の提案は補助の上限が現在の初乗り運賃590円から一律で運賃の半額(上限1000円)とされ、利用回数が月4回から8回に拡大する案となっている。しかし、一律半額となるため、初乗り運賃の範囲で利用していた人は半額の負担があらたに必要となる。300円近い負担増とする案にできないか。

町長

半額を1000円まで補助ということではやらせていただきます。

「循環バス」と組み合わせの検討を

利用者確保・バス事業者等との調整など困難が多い

質問

今回の提案は「一歩前進」だが、「だれでも乗れる循環バス」の内容はまったく含まれていない。今後どのように考えて行くのか。

町長

全町民が利用できることは素晴らしいが、利用者確保・バス事業者・タクシー事業者との協議などの課題があります。町の財政負担もあり、いま現在は厳しいと答弁させていただきます。

コロナ第6波に向け万全の対策を

PCR検査補助は3月末まで延長する

ワクチン接種の取り組み、感染者の後遺症対策、PCR検査補助の期間延長、学生への給付金第2弾の検討などについて質問しました。

質問部分は省略

「生理の貧困」どう考えているのか

なくなるように町としても努力する

女性が一生で経験する生理の回数は450回と戦前の10倍近い回数となっています。婦人科系疾患による経済的損失は年間6・4兆円、婦人科系疾患にかかる方がなくなることは、すこやかな生理を過ごすことは国にとっても町にとっても極めて大きな問題です。生理の貧困などあつてはならない問題と考え、ジェンダー平等社会を実現する上でも重要な課題と考え、質問しました。

質問

生理のたびに生理用品を買うお金がなかったり、利用できない環境にある方があり、国も生理の貧困を「骨太方針」に初めて盛り込んだ。とりわけ学齢期の子ども達への支援は重要なテーマと考える。町長の見解を問う。

町長

生理の貧困をなくすように、町としても努力しなければなりません。

教育長

生理用品のトイレへの設置については、県の教育長会研修会でも話題となったところです。(県下)の全町とも本町と同じく保健室での対応であり、保護者や子どもからの設置要望は、現在のところはないうちのお話でした。

意見

公衆トイレにトイレレットペーパーがないところはない。ないと不便だからであり、子ども達の声も上がっている。小中学校トイレに生理用品を設置すべきではないか。

下水道料金引き上げは見直すべき

この間、委員会に下水道料金引き上げの案が示されました。一方でコロナ下で収入減と物価高の中で料金引き上げはできないと、取

り上げましたが、時間が足りなく、意見のみを述べました。

公立保育所、看護職員の常勤化・処遇改善を行うべき

賃金体系の見直しを検討する

公立保育所では、民間保育所に対応できない「医療ケア児」の受け入れを行っています。しかし、唯一の医療職である看護職員が非常勤パートの方であり、しかも処遇が低い状況となっています。改善が必要と考え、質問しました。

質問

医療ケア児の受け入れは、医師でない看護職員が見守る形となっている。医療の専門職がほかにない中で、一般病院と比較しても責任もストレスも大きい。ところが処遇は一般病院と比較して大変低い。常勤を配置すべきであり、当面は処遇改善をはかるべきだ。

総務理事兼総務課長

看護師の給料は医療職の給料分について定めています。健康相談センター等で雇われている看護師さんもおられるので賃金体系の見直しは、今後考えさせていただきます。

SDGsの理念の共有と本町の取組みで目指すものは

総合戦略遂行で目標達成を推進していきます

「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」でSDGsを原動力として、今後5年間の施策の方向性が示されています。
各地でSDGsの取組みの気運の中、佐々町として特化した町づくりは何かを質した。



永安文男

質問
持続可能なまちづくりとして、何をもちょうまちづくりを進めていくのか。

町長
SDGsの持続可能な開発目標を、2030年までに誰一人取り残さない社会の実現を目指すとしています。

これらの課題解決を、第2期総合戦略の推進により施策を展開していくことが、SDGsの達成に向かっていくのではないかと考えています。

質問
総合戦略の1つ1つの事業を完遂することで、SDGsのゴールに到達するとの考えですが、佐々町として何をもちょうまちづくりをするかのアピールは。

町長
SDGsに特化したものはまだ出来ていませんが、どういう取組みをするのか色々な計画を立てていますので、その中でSDGsの目標に貢献するのではと思っています。

質問
SDGsに関して周知及び研修が必要ではないか。

町長
周知は大変必要だと承知しています。広報紙等の方法で周知していきます。

研修は、職員一人一人がSDGsの理念を認識できるようにやりたいと考えています。

教育行政のリーダーとして今後の抱負は

変えてはいけないことは大切に、変えるべきは進化させたい

教育長の3期目就任にあたり今後の抱負と、教育委員会自己点検評価報告の個別的内容により教育行政の推進について質問を行った。

質問

教育委員会の代表としてリーダーシップが問われるが、3期目の抱負は。

教育長

教育には基本的に大切にしなければならぬ2つのものがあり、1つは道徳心、規範意識、基礎学力、大人の学びの場の確保は変わってはいかない。もう1つは、変わっていく世の中に対応する教育と

思っています。教育のICT化や、自ら学ぶ授業への転換など改善すべき点は、適切に学校と連携して対応していきます。

質問

活動指標及び成果指標に基づく総括は。

教育長

自己点検評価では、活動指標は100%、成果指標が94.5%でおおむね達成です。

質問

成果指標で59%以下の達成、英語の理解度の未達成、学校図書館の貸出冊数が20%とは問題ではないか。

教育長

ご指摘の項目は対策を立てていかなければと思っております。ICTの活用を含めさらに改善に努め、貸出冊数については具体的な指導を検討したいと思っています。

質問

いじめ対策と不登校対策は。

教育長

いじめ防止基本方針に従った対応をしています。集計では、小中合わせて35件あり、一旦の解消は100%です。早急に対応して和解、その後3か月の経過を見るところです。不登校については、予兆の段階での対応が重要で、相談活動の充実と学校や友人とのつながりにより登校の意欲を高める検討をしています。

県道佐世保鹿町線の小浦駅前横断歩道に押しボタン式信号機設置を

質問

交通安全施設の整備と点検は大変重要と思うが、カーブミラー及び横断歩道の点検状況はどうか。

町長

安全なまちづくりとして必要なことと認識しています。

質問

通学路関係で、四ツ井樋踏切横の横断歩道付近のスピード緩和対策と、町道赤崎線から県道に出る交差点の安全対策は考えているか。

建設課参事

通学路安全点検で、路面に減速を施す表示を行います。また、県道との交差点信号付近の安全対策は、拡幅の用地協力の可能性を交渉して



小浦駅前横断歩道

住みやすいまちづくり・町の姿勢は

予算等が伴うものであり補助事業などを活用していきたい



川 副 剛

人口が増加している本町での生活の基盤（カーブミラー・公園・防犯カメラ・小規模公園の遊具）を見直すべきと考え、質した。

■ 質問

カーブミラーが見えにくい、鏡面がへこんでいる、裏側が錆びている、設置してほしい場所がない、また冬の寒い時期、ミラーが朝露で曇ってみえないなどの意見がでているが、町内会から要望は確認しているのか。

■ 総務理事兼総務課長

町内会からの要望につきましては、要望された年の次の年に予算措置をする形になっております。曇りにくいカーブミラーについては、研究していきたいと思っております。

■ 要望

日中蓄えた熱エネルギーで鏡面温度を高くし、早朝の曇りを防ぎ、霧や露を寄せつけない、冬でも曇らないミラーもある。事故が起こる前にスปีデーに対応していただきたい。

■ 質問

小規模公園の遊具の安全は

■ 建設課参事

定期点検を行い、修繕を行っております。使用して危ないものにつきましては、使用禁止措置を講じております。

千本公園

トイレ改修を

遊具だけではなくトイレや駐車場など総合的にリニューアルすべきと考え、質問しました。

■ 質問

千本公園の老朽化した和式トイレを洋式に、障害者トイレ・多目的トイレを新設すべきでは。

■ 建設課参事

費用も多額にかかることになりそうですので、地域ニーズ、費用対効果など十分勘案して、計画していきたいと考えております。



千本公園トイレ

防犯カメラ

設置について

全国で子ども・高齢者が巻き込まれる事件が多発しており、安全対策を強化すべきと考え質した。

■ 質問

犯罪の防止、事件の早期解決に貢献する防犯カメラは設置しないのか。

■ 町長

プライバシーの侵害、データ管理なども含めて、十分考えながらやっていきたいと思っております。

■ 意見

プライバシーの侵害については、リアルタイムで見ることとはなく、普段は映像を撮りためしておき、犯罪が発生した時だけ、警察や裁判所からの要望で映像提供することがほとんどであり、生活を監視されるのではないかと不安を解消するためにガイドラインを作成している自治体もあります。町民のご理解をいただいで前向きに検討すべきだ。

DXについて

※

職員不足、マンパワー不足による住民サービスの低下が懸念されている。高齢者問題もあり、独居老人のケアなど、より職員の負担も増えることが想定されるため、質問しました。

■ 質問

AI（人工知能）・RPA（業務自動化システム）を導入し、煩雑な業務の効率化をはかり、職員が職員にしかできない業務に注力できるように環境づくりをすべきでは。

■ 総務理事兼総務課長

AI・RPAにつきましては、先進的にやっている自治体もございますので、研究したいと思っております。

■ 町長

業務の改革になるのではないかと考えておりますし、本町としてもDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める環境づくりは必要となってくるのではないかと考えております。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）の概念「IT（情報技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」

消防団設置条例の改正で 団運営どう変わる



橋本 義雄

■ 質 問

消防団設置条例の全部改正ということですが、国の政策で変えなきゃいけないのか。変えて団運営がよくなるのか。又近隣の市町村も改正されているのか。

■ 町 長

分団運営は大きく変化するということになると考えています。

■ 総務理事兼総務課長

出動手当につきましては他自治体でも改正の準備を進められていると聞いております。

■ 質 問

消防団は、地域にとってもなくてはならない組織であり、地域のリーダーを育てる団体でもあります。佐々町として消防団の運営について、この機に各分団ごとに突っ込んで話し合うべきではないのか。

■ 町 長

各分団ごとの話し合いは、今のところ考えていません。必要性があれば検討させていただきます。

■ 質 問

佐々町として、各分団の運営のあり方を把握しておられるのか。

■ 町 長

分団長会を中心に消防団運営について進めていきます。

■ 質 問

運営費についての28万5千円ではやっていけないのではないか。見直しを考えてもらいたい。

■ 町 長

分団運営の28万5千円というのは、町として維持させていたいただきたい。



消防団の運営は如何に

水道課の深井戸の 管理について

■ 質 問

水不足解消のため、深井戸を、皿山公園・報国炭鉱線沿い・浄水場内・河川公園と4か所掘られています。その管理は、どのようにされておられるのか伺いたい。又どのように利

用され、今現在どのくらい水量が確保できるのか伺いたい。

■ 町 長

管理は委託業者に毎月、毎日の稼働状況の確認をしています。水量の確保につきましては、佐々川からの取水が2,400m³、深井戸から5,600m³、佐々川の水利権拡大、水源確保については、毎年県知事・県議会に陳情を行っています。



河川公園内の深井戸



報国炭鉱線沿いの深井戸

町道路線の認定に ついて

■ 質 問

宅地開発（ミニ開発）などにより、農道、その他の道路を町道に路線変更をしなければならぬようなところが佐々町にはあるようです。そういうところはどのような申請をすればいいのか伺いたい。又そういった町道路線に認定した箇所が最近あればお示しください。

■ 町 長

町道認定が適当と判断した場合は、農林水産省へ財産処分の申請を行い、承認後に町道に移管します。最近では、平成21年・28年に千本団地と沖田免で宅地開発があり町道認定しています。



路線変更で農道から町道認定してもおかしくない路線

佐々町の声を国政へ

地元国会議員へ要望活動

昨年12月1日、現農林水産大臣の金子原二郎参議院議員、元地方創生大臣の北村誠吾衆議院議員へ要望活動及び意見交換を行いました。

出席したのは、古庄町長、淡田議長、平田副議長、須藤議会運営委員長、阿部総務厚生委員長、長谷川産業

建設文教委員長でした。主な項目は、有害鳥獣対策、ため池整備促進についてでした。

中山間地域の農地荒廃が進んでいることへの懸念から、農地の確保等・生産意欲がでる環境が整備されることで、農家の後継者の育成・新規就農者が確保され

西九州自動車道建設促進大会

○日時 令和3年12月18日 (土) 13時30分～15時

○会場 平戸市生月町開発総合センター

○主催 佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町

○共催 長崎県西九州自動車道建設促進期成会

○参加者 佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町の首長及び議会議員、議員、民間の期成会会員、地元自治会、建設業関係者等

決議・要望内容

現在、西九州自動車道は、全体計画約150kmの内、約7割110kmが供用され、

移動時間の短縮や渋滞緩和などの効果があるが、まだ、3割が未供用である。松浦・佐々道路においては、当初予算として過去最大の約96億円が確保されたが、なお一層の整備促進を図るため、次の事項を要望する。

○松浦佐々道路、伊万里松浦道路及び伊万里道路の早期完成。

○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」増額確保を計画的に推進するため、中長期的に予算・財源を通常予算とは別枠で確保するこ



金子農林水産大臣への要望(大臣室)

るということをお願いしました。

○頻発する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制強化を図り、災害対応に必要な資機材を更に確保すること。



生月町開発総合センター

議会日誌

〔11月〕

2日 全員協議会
新庁舎建設に係る意見交換会

5日 議会広報委員会

15日 議会広報委員会

17日 産業建設文教委員会

18日 総務厚生委員会

19日 議会広報委員会
産業建設文教委員会

西九州自動車道建設促進大会(東京大会)

24日 議会広報委員会

4市1町西九州自動車道建設促進協議会要望活動(九州地方整備局)

25日

総務厚生委員会
全員協議会

〔12月〕

1日 地元選出国会議員への要望活動(東京)

7日 議会運営委員会
議会広報委員会

14日 12月定例会(1日目)

15日 12月定例会(2日目)

16日 議会運営委員会

12月定例会(3日目)

18日 西九州自動車道建設促進大会(平戸大会)

24日 新庁舎建設に関する調査特別委員会

「インターンシップを通して」

長崎県立佐世保商業高等学校1年

太田 美月

私は12月7日から10日までの4日間、議会事務局にインターンシップでお世話になりました。4日間という短い期間でしたが、議会で使用する議案書など大切な資料作成のお手伝いをはじめ、町政に関する業務について多くのことを経験させていただきました。

最初は何も分からず教えていただくばかりでしたが、時間が経つにつれ自ら考え行動することで、少しずつですが手際よく取り組むことができてきました。任せていただいた仕事がひとつ終わる度にとても達成感があり、大変ながらも楽しく仕事をすることができました。また、いろいろな課に連れて行ってもらう各課の業務についてお話しをうかがったり、議

員の皆さんと接するなかで、町のみんなのために働く方々がとてもカッコよく感じました。

このインターンシップを通して家や学校では教わらないことをたくさん教えていただき、新しい経験がとても楽しく感じる一方、働くことの大切さと大変さが分かった気がします。今回のインターンシップで学んだことをこれからの学校生活や人生の目標設定に生かして頑張りたいと思います。



議員の皆さん、議会事務局の方々をはじめ佐々町役場の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

編集後記



今年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、新しい年を迎えました。新年のさまざまな行事も、まだ配慮しながらの開催となりました。

学生がいるご家庭では、これから受験や卒業、入学式とあわただしく、終息した春の訪れを待ち望むこ

とでしよう。

佐々町議会では議員活動はもとより、町民の皆様と議会を繋ぐ「議会だより」の刊行に、なお一層の努力をしながら取り組んで参ります。令和4年も佐々町議会をよろしく

(横田博茂)

訂正とお詫び

議会だより第140号のP3とP5に記載誤りがありました。正しくは下記のとおりとなります。



P3 ※金額の記載誤り
○会計別決算状況

区分	歳入	歳出	歳出
農業集落排水事業特別会計	2,313万円	1,087万円	2,111万円

P5 ※対象者の記載誤り
○学校の学習環境の整備

説明	対象者	支出金額
モバイルルーター (70台)	電子計算費 → 佐々小学校	761,530
モバイルルーター (70台)	佐々小学校 → 口石小学校	761,530
モバイルルーター (85台)	口石小学校 → 佐々中学校	924,715
学習用ソフト使用料	口石小学校 → 佐々中学校	4,788,300

P5 ※説明の記載誤り
○庁舎内の感染防止対策及び会議対策

説明	対象者	支出金額
間 空気除菌脱臭機 (2台)	児童福祉	245,000
申告会場用加湿空気清浄機 (10台) 追加	税務課	430,000

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷/有限会社タイセイ印刷